

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : チタン系ワイヤー製品

純チタン、高強度チタン (β 合金)、形状記憶合金他

その他 日本精線(株)規格製品及び上記相当のチタン合金線

会社名 : 日本精線株式会社

住所 : 〒573-8522 大阪府枚方市池之宮4丁目17番1号

SDS作成部門 : 品質保証部

電話番号 : 072-840-1264

FAX番号 : 072-840-1483

お問い合わせ連絡先 : 下記の支店、営業所の各営業担当者

大阪支店 06-6222-5433

九州営業所 092-716-6776

東京支店 03-5203-1641

海外部 06-6222-5434

名古屋支店 052-219-5121

作成・改訂 : 2013年10月30日作成 2015年6月8日改訂

2. 危険有害性の要約

GHS分類及びGHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

呼吸器感作性

区分1

皮膚感作性

区分1

発がん性

区分2

生殖毒性

区分2

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

区分1(呼吸器、腎臓)

区分3(気道刺激性)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

区分1(呼吸器、肝臓)

環境に対する有害性

水生環境有害性(慢性)

区分4

※上記に記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外、または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険 警告

危険有害性情報

軽度な皮膚刺激

目への刺激

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれの疑い

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害(呼吸器、腎臓)

臓器の障害のおそれ（全身毒性）
呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）
長期又は反復ばく露による臓器の障害（神経系、呼吸器、肝臓）
水生生物に長期的影響により有害のおそれ

注意書き

安全対策

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
適切な個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

応急措置

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
漏出物は回収すること。

保管（貯蔵）

施錠して保管すること。

廃棄

内容物や容器は、国際、国、都道府県、又は、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報 単体／混合物の区分：混合物（合金）

《主な成分》

成分	含有量 (Wt%)	CAS 番号
チタン [Ti]	—	7440-32-6
ニッケル [Ni]	*1)*3)	7440-02-0
銅 [Cu]	*3)	7440-50-8
コバルト [Co]	*1), *2)	7440-48-4

*1) PRTR 法で選定された物質（第一種指定化学物質）の対象。

*2) 労働安全衛生法の表示対象物質。 *3) 労働安全衛生法の通知対象物質。

但し、本製品は固体金属であるが、7 項「取扱い及び保管上の注意」を参照のこと。

注 1) 成分値は上記成分範囲において、鋼種規格により異なる。

注 2) 用途により上記主成分以外に微量元素を含むものもある。

注 3) 詳細はミルシートに記載。記載のない場合でも微量の含有がある場合がある。

4. 応急措置 前記 2 項を参照すること。

5. 火災時の措置 不燃性の状態であり、また、周辺の火災においても、通常の散水・消火器等の使用に制約はない。

6. 漏出時の措置 製品状態では、形状のある固体であるため、該当する事項はない。
粉じん状態で飛散した場合は、適切な手段で回収し、カバーで覆う等、飛散防止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意	<p>(1)本製品を取り扱う場合、呼吸器、皮膚、目、及び身体を保護するため、適切な保護具を着用すること。</p> <p>(2)本製品を、加熱、溶融、切削、研磨等の加工を行ない、粉じん・ヒューム等が発生する場合は、装置の密閉化あるいは排気を十分に行なう等、身体にばく露を防止すること。</p> <p>(3)加熱の影響による生成物など製品の状態変化に関しては十分に注意し適切な対処を行いながら作業すること。</p> <p>(4)本製品を保管する場合、施錠して保管すること。粉じん状態で保管は飛散しないようにカバー等で覆うこと。</p>
8. 暴露防止及び保護措置	適切な個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
9. 物理的及び化学的性質	<p>外 観：特殊鋼鋼材（固体）</p> <p>引 火 点：該当なし。但し、加工により生じた微粉は、燃焼、爆発性を有する場合がある。</p> <p>融 点：1 0 0 0 °C～1 8 0 0 °C</p> <p>比 重：4～7</p> <p>化学的性質：・水には不溶。酸化性酸で不動態被膜が形成され、弱酸及びアルカリには比較的耐食性がある。</p>
10. 安全性及び反応性	<p>安定性：通常状態では化学的に安定している。</p> <p>有害分解物質：加熱、溶解、溶融、溶接、切削、研磨等の加工時には金属化合物、粉塵、ヒューム等が生成する場合があります。</p> <p>その際、法に従った対策が必要になる場合があります。</p>
11. 有害性情報	前述2項を参照すること。
12. 環境影響情報	前述2項を参照すること。
13. 廃棄上の注意	本製品、端材、切断屑等、及び、梱包材を廃棄する場合、国際、国、都道府県、又は、市町村の規則に従って廃棄すること。
14. 輸送上の注意	合金材としては、該当する事項はない。
15. 適用法令	労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）
16. その他の情報	<p>(1) 危険物データブック（東京消防庁 警防研究会）</p> <p>(2) 主要 1000 種データ特別調査レポート（海外化学技術資料研究所）</p> <p>(3) Metallic Alloys and Harmonization of Classification Criteria(OECD)</p> <p>(4) 化学製品の安全性データシート（ISO 11014-1）</p> <p>(5) 日本産業衛生学会勧告値、ACGIH(米国産業衛生専門家会議) 勧告値</p> <p>(6) 危険・有害物便覧（労働省安全衛生部監修：中央労働災害防止協会）</p> <p>(7) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 ホームページ</p> <p>◆記載内容の取扱い</p> <p>(1) 記載内容以外の特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、加工願います。</p> <p>(2) 記載の危険性、有害性、環境影響評価等に関しては情報提供であり、保証するものではありません。</p>